I·O DATA

3 MS-DOS（PC DOS）でお使いの場合 MOIシリーズ

152231-01

1 インストールする

●MS-DOS(PC DOS)、Windows 3.1で使うには、本製品をパソコンに取り付け後、「サポートソフト」をインストールする必要があります。

1 パソコンの電源を入れ、MS-DOS（PC DOS）を起動します。

Windows 3.1が起動した場合は終了してください。
（Windows 3.1のDOSプロンプトではインストールできません。）

2 「サポートソフト」CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。

3 インストーラを起動します。

下記のように入力して、[Enter]キーを押します。
（下記はCD-ROMドライブがEドライブの場合の例）

```
C:¥>e:¥mo¥dos¥install_
```

4 [Enter]キーを押します。

```
このプログラムは、MOシリーズサポートソフトのインストールを行います。
画面表示に従って、インストールを行ってください。

[ENTER]:続行　[ESC]:インストール中止
```

5 [Enter]キーを押します。　▼画面はMOI-AB640での例

```
現在接続されているMOシリーズ機器は以下の通りです。
HA:0 ID:1　MOI-AB640

[ENTER]:了解
```

6 インストール先を入力し、[Enter]キーを押します。

通常はそのまま[Enter]キーを押します。

インストール先ディレクトリ名の入力

サポートソフトのインストール先ディレクトリ名を入力してください。ディレクトリ名は、必ずドライブ名を含めたフルパス名で記述してください。

C:¥DDEV¥MOD_

[ENTER]:続行　[ESC]:前画面へ

7 [Y]キーを押します。

```
指定されたディレクトリは存在しません。
ディレクトリを作成しますか？

[Y]:はい　[N]:いいえ
```

8 [Enter]キーを押します。

```
ファイルのコピーを開始します。

[ENTER]:続行　[ESC]:前画面へ
```

9 通常は[MODISK.SYS]を、複数パーティションに区切られたMOメディアをご使用の場合は[MODISKX.SYS]を選んで、[Enter]キーを押します。

デバイスドライバの選択

メディアへアクセスするためにデバイスドライバが必要です。

どちらのデバイスドライバを使用しますか？

※1 DOS/V機のFDISK形式で領域が作成されているメディアをアクセスする場合は MODISKX.SYS を選択して下さい。
※2 MODISKX.SYS は 640MB/1.3GBのメディアを扱えませんのでご注意下さい。
通常は MODISK.SYS をお使い下さい。

MODISK.SYS　　MODISKX.SYS

[←][→]:選択　[ENTER]:決定　[ESC]:インストール中止

10 起動ドライブ名を確認し、[Enter]キーを押します。

起動ドライブ名（環境ファイルがあるドライブ）を確認します。

起動ドライブ名の入力

起動ドライブ名を入力してください。
起動ドライブの環境ファイル（CONFIG.SYS／AUTOEXEC.BAT）に、MOシリーズ対応のドライバとフォーマットユーティリティのパスを登録します。

C:_

[ENTER]:続行　[ESC]:前画面へ

11 [はい]を選び、[Enter]キーを押します。

環境ファイルの保存・変更

環境ファイル（CONFIG.SYS／AUTOEXEC.BAT）を変更しますか？

はい　　いいえ

※1 "はい"を選択すると、変更前のファイルを拡張子 'BAK' として保存します。
※2 "いいえ"を選択すると環境ファイルの変更は行いません。
※3 インストール先ディレクトリには環境ファイルの修正案が作成されますので参考にして下さい。

[←][→]:選択　[ENTER]:決定　[ESC]:前画面へ

12 [Enter]キーを押します。

インストールは正常に終了しました。

ドライブを有効にするためにはフロッピーディスクを抜いて[Ctrl]+[Alt]+[Delete]を押してリセットして下さい。システムの再起動後にはMOシリーズ機器が正常に接続・認識されているか確認してください。

注意）AUTOEXEC.BATにパスを登録する箇所は一ヶ所のみのため、パスが二ヶ所以上ある時にはエディタ等で修正してください。

[ENTER]:了解

13 「サポートソフト」CD-ROMを取り出します。

14 パソコンを再起動します。

以上でインストールは終了です。

2 インストール状態を確認する

●インストールが正常に行われたかを確認します。

MOメディアを入れないで次の確認を行ってください。

1 MOドライブを確認します。

確認1

■Windows 3.1の場合

［ファイルマネージャ］で該当するドライブが表示されることを確認します。

■MS-DOS(PC DOS)の場合

右のように入力し、[Enter]キーを押します。
接続状態とドライブ名が表示されますので、確認します。

```
C:¥>MOUTL L_
```

確認2

CONFIG.SYSの内容を確認します。

以下は、標準のインストール先ディレクトリの場合で、Cドライブにインストールした例です。

■MODISK.SYSの登録を選んだ場合

以下の2行が追加されています。
DEVICE=C:¥DDEV¥MOD¥ATASPI.EXE（/UIDE※）
DEVICE=C:¥DDEV¥MOD¥MODISK.SYS　/ID=xy
（xはホストアダプタ番号、yはターゲットID）

■MODISKX.SYSの登録を選んだ場合

以下の2行が追加されています。
DEVICE=C:¥DDEV¥MOD¥ATASPI.EXE（/UIDE※）
DEVICE=C:¥DDEV¥MOD¥MODISKX.SYS　/ID=xy　/PARTITION=z
（xはホストアダプタ番号、yはターゲットID、zはパーティション数）

※弊社製UIDE-66に接続されている場合は、/UIDEがオプションとしてつきます。
※UIDE-133はWindows 3.1およびMS-DOS(PC DOS)環境ではご使用いただけません。

注意

●マルチコンフィグ機能を使用している場合は、CONFIG.SYSに設定されたSCSIデバイス用の記述を[COMMON]領域（または各環境領域）に移動してください。
●弊社製RMシリーズを使用している場合、インストーラは自動的にRMシリーズのドライバを無効にし、MOIシリーズのドライバを組み込みます。
例）REM DEVICE=C:¥DDEV¥RMD¥RMDISK.SYS　←RMシリーズのドライバ
DEVICE=C:¥DDEV¥MOD¥MODISK.SYS　←MOIシリーズのドライバ

2 AUTOEXEC.BATの内容を確認します。

以下は、標準のインストール先ディレクトリの場合で、Cドライブにインストールした例です。

以下の1行が追加されます。
PATH=C:¥DDEV¥MOD;%PATH%

以上でインストールの確認は終了です。

MOメディアをセットする

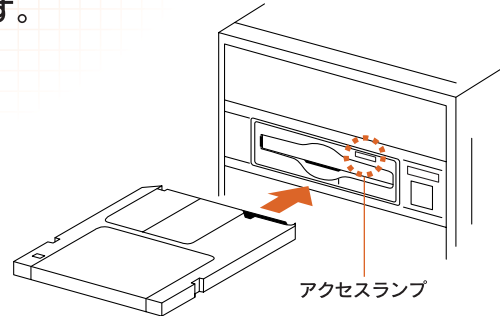
1 MOメディアの表側をアクセスランプに向け MOメディア挿入口へカチッと音がするまでまっすぐに入れます。

2 アクセスランプが点灯後、消えることを確認します。

MOメディアを取り出す

●パソコンの電源を切る前に、必ずMOメディアを取り出してください。
●アクセスランプが点灯中にパソコンの電源を切らないでください。システムが不安定になったり、MOメディアのデータが破損する場合があります。

1 本製品のアクセスランプが消えていることを確認します。

2 イジェクトボタンを押します。
⇒MOメディアが取り出されます。

MOメディアをフォーマットする

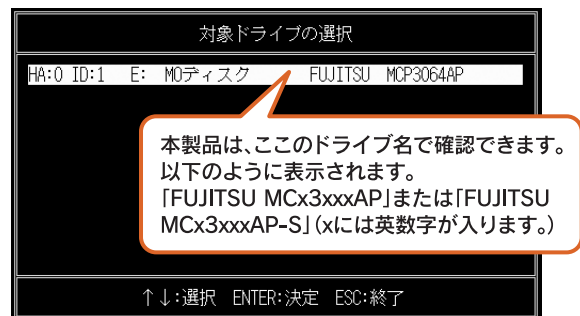
●新しいMOメディアなど、フォーマットされていないMOメディアを使用するには、一度フォーマットを行う必要があります。下記の手順でフォーマット作業を行ってください。

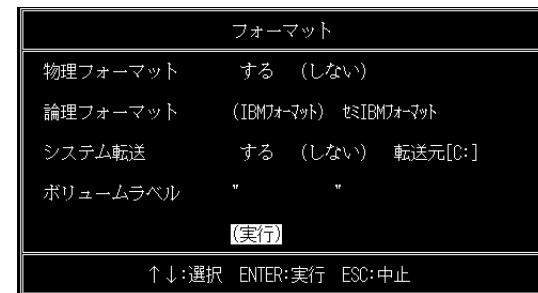
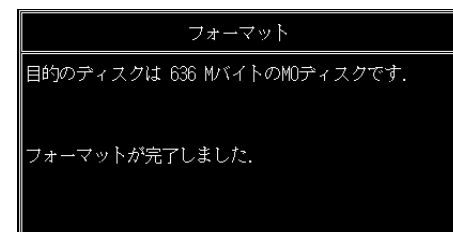
1 パソコンを起動します。
Windows 3.1が起動する場合は終了し、MS-DOSのプロンプト状態にします。
(WindowsのDOSプロンプトでは動作できません。)

2 本製品にMOメディアをセットします。
アクセスランプが一度点灯して消灯することを確認します。

3 MOUTLを起動します。
右のように入力し、[Enter]キーを押します。

```
C:¥>MOUTL_
```

4 本製品を選択し、[Enter]キーを押します。
複数のMOドライブが表示されている場合は、[↑][↓]キーで対象の本製品を選び、[Enter]キーを押します。

5 [↑][↓]キーで[フォーマット]を選択し、[Enter]キーを押します。

6 [↑][↓][←][→]キーで項目を選び、「実行」を選択し、[Enter]キーを押します。
⇒フォーマットを開始します。
●物理フォーマット:通常は[しない]を選びます。
●論理フォーマット:通常は[IBMフォーマット]を選びます。
●システム転送:通常は[しない]を選びます。
本製品ではMOメディアから起動することはできません。
●ボリュームラベル:ラベル名を指定したいときに入力します。

7 [Enter]キーを押します。

8 DOSプロンプト状態になるまで[ESC]キーを何度か押します。

以上でMOメディアのフォーマットは終了です。

困ったときには

■使用中にデータエラーが発生する

本製品のヘッドレンズが汚れている

下記のクリーニングキットをお使いの上、定期的なクリーニングをお願いいたします。

●推奨クリーニングキット
「Head CLEANER No.0240470」(富士通コワーコ株式会社)
住 所 〒160-0023 東京都 新宿区西新宿 6-24-1 西新宿三井ビルディング
TEL/FAX 03-3342-5460 / 03-3342-5446
Web http://www.coworco.fujitsu.com/

■フォーマットや書き込み作業中に処理が中断される

長時間の使用により高温になり、安全装置が働いた

システムを終了してパソコン本体の電源を切り、本製品が冷えるまでしばらくお待ちください。
本製品を取り付ける際には、他のドライブと離すなど、取り付け位置を工夫してMOドライブの温度が上がりすぎないようにしてください。特に本製品を3.5インチベイに取り付けた場合、放熱効率が落ちますのでご注意ください。

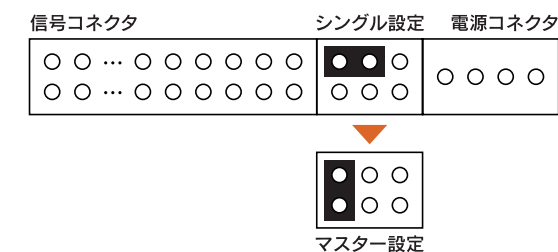
■MOメディアにファイルの書き込みができない

MOメディアがライトプロテクトされている

MOメディアのライトプロテクトを解除してから、ファイルを書き込んでください。

■パソコンが起動しない

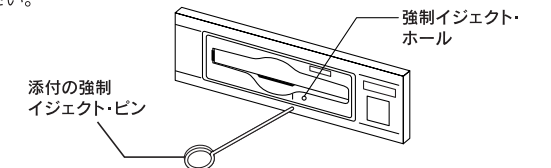
マスター/スレーブ設定が正しくない

別紙「②セットアップガイド」の【2.スイッチを設定する】の個所、および、他のIDE機器のマスター/スレーブ設定を確認してください。
パソコン本体標準ハードディスクドライブの設定が「シングル」になっている場合は、「マスター」に設定しなおしてください。
また、本製品を外し、パソコン本体標準ハードディスクのみに戻す場合は、「シングル」に戻してください。
(例:ウェスタンデジタル製ハードディスクなど)

■MOメディアが取り出せない

パソコン本体の電源が入っていない

パソコン本体の電源を入れた状態で、MOメディアを取り出してください。

機械的な故障や、その他の理由で取り出せない

パソコン本体の電源を切ります。
添付の強制イジェクト・ピンを強制イジェクト・ホールに約25mmほど差し込むとイジェクトします。
※これは、緊急時の操作です。むやみに行わないでください。
この操作でも取り出せない場合は、無理に引き出さず、弊社修理係にご依頼ください。

■640Mバイト以上のMOメディアにアクセスできない

「modisk.sys」が登録されていない

表面【1.インストールする】を参照し、「サポートソフト」をインストールしてください。
(手順9では、「MODISK.SYS」を選んでください。)

■内蔵CD-ROMドライブを使用できない

内蔵CD-ROMのドライバが本製品を認識している

内蔵CD-ROMドライブが本製品よりも優先されるようにマスター/スレーブ設定を行ってください。(別紙「②セットアップガイド」の【2.スイッチを設定する】の個所参照)

■UIDE-66を使用していると、使用できないCD-ROMドライブが追加される

原因

仕様により、本製品をCD-ROMとして認識している

UIDE-66のドライバが本製品をCD-ROMとして認識しています。このドライブは使えませんので、そのCD-ROMドライブにはアクセスしないでください。